

災害時に活用できるトイレ作りを解説する柳原さん



災害時すぐに使える技を伝授 歌う防災士招いて地域づくり講演会

市が推進する市民と行政が協働する地域づくり。そのきっかけづくりとして2月6日、市は柳原志保さんを招いた講演会を市民文化会館で開きました。「歌う防災士しほママ」の愛称で活躍する柳原さん。講演会では熊本地震で多くの人がエコノミー症候群になったことに触れ、音楽に乗せて座ったままできる体操を披露しました。また、約70人の参加者と一緒に新聞を使ったスリッパ作りを実演。「必要な物は作ることができる」と身近な物を活用する大切さを訴えました。

声援を受け一斉にスタートする選手



声援を背に小中学生が力走 武田千代三郎杯駅伝大会開催

1月19日、武田千代三郎杯柳川市駅伝競走大会が、有明ひまわりセンター周辺で行われました。大会には、スポーツクラブや中学生の部活動などで構成された男女33チーム165人が参加。チームメイトや保護者の声援を受け、1周約1.5km、5区間でたすきをつなぎました。大会の結果は次のとおりです。【小学生の部優勝】▷男子=ツインスターズA▷女子=ツインスターズA 【中学生の部優勝】▷男子=Y A S C陸上A▷女子=三橋中学校陸上部A

会場は色鮮やかなさげもんなど3000点が展示された



子どもの健やかな成長を願って 市民体育館でさげもん展示即売会開催

女の子の健やかな成長を願い、ひな人形とともに飾る「さげもん」の展示即売会が1月25、26日、市民体育館でありました。市地域婦人会連絡協議会と市シルバー人材センターの会員が手作りしたさげもんや柳川まり、ひな飾りなど約3000点が出品。訪れた人はじっくりと品定めしながら気に入った品を買い求めています。みやま市から訪れた女性は「1歳の娘のために買いに来ました。健康で病気しない子に育ってほしいですね」と話していました。



【上】マーチングバンドの演奏に合わせて行進する矢留小学校の児童

【右】短歌大会で人賞に輝いた大橋拾子さん

【下】コンサートで白秋作詞の曲を披露するやながわ suite 合唱団



韓国の児童にロックソーランを披露する両開小学校の6年生



国境を超えた友達づくり 両開小学校と韓国の児童が文化交流

両開小学校で1月20日、韓国東萊初等学校の児童たちとの交流会がありました。今年で26年目となる「日韓子ども交流事業」の一環。交流会ではお互いに合唱やダンス、演奏などの出し物を披露しました。休み時間になると韓国児童がお菓子などを両開小の児童へプレゼントするなど交流を深めていました。6年生の古賀都子さんは「韓国語で話せるように練習してきた。韓国の子どもたちと良いつながりが持てたらうれしい」と笑顔で話してくれました。



身近な話題などお知らせください。情報をお待ちしています。
【問】企画課広報広聴係 ☎ 77・8425

白秋生誕140年を盛大に祝う 柳川が生んだ詩聖を偲ぶイベント次々

1月25日を皮切りに、市内では北原白秋生誕140年を祝う記念事業が次々と開催されています。生誕140年の始まりを告げるパレードは、午前10時30分に白秋生家前を出発。矢留小学校の児童が白秋の遺影を乗せた大八車を先頭に詩碑苑まで行進しました。同日の午後には、市民文化会館で白秋顕彰短歌大会を開きました。生誕140年を記念して、3人の選者を講師に迎え、講話や講評を実施。市内からは大橋拾子さんが人賞に、金子桂子さんが佳作に入りました。翌26日には同館で生誕140年記念合唱コンサートを開催。市内で唯一の少年少女合唱団「やながわ suite 合唱団」も参加し、白秋が作詞した「この道」や「帰去来」など5曲を披露しました。

橋本教育長へ笑顔で受賞を報告した高山主幹教諭（右）



子どもが自ら学ぶ教育目指す 高山主幹教諭が文部科学大臣表彰

城内小学校の高山由布子主幹教諭が文部科学大臣優秀教職員表彰を受賞しました。県の重点課題研究に指定されている同校で、子どもが主体となった学習への転換を中心となって実践している点が高く評価されました。1月21日、市教育委員会を訪れた高山主幹教諭は「児童や先生たちのサポートのおかげ。表彰に見合うように今後もさらに頑張っていきたい」と橋本教育長へ喜びを報告。橋本教育長は「子どもの笑顔がさらに輝く学校づくりを目指してほしい」と激励しました。